

カシオ電卓

取扱説明書

保証書付

対象機種・JS-201SK

本書はお読みにになった後も大切に保管してください。
再生紙を使用しています。

安全上のご注意



このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書は必ず大切に保存してください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電池について

●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- ・分解しない、ショートさせない
- ・加熱しない、火の中に投入しない
- ・充電しない
- ・極性(＋と－の向き)を正しく入れる

●ボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意願います。

●電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

火中に投入しない

●本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となることがあります。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池について

●電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ・本機で指定されている電池以外は使用しない
- ・長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

表示画面について

●液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。

●液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。目に入った時、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

基本計算

計算を始めるときはACキーを押します。

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
6÷3×5+2.4-1=11.4	F	6 ÷ 3 × 5 + 2.4 - 1 =	
2×(-3)=-6	F	2 × 3 =	
6÷0=(エラー)	F	6 ÷ 0 =	E

●ACキーで解除します。 "E"表示が消えます。

●MCキーを押して求めた答はGTメモリーに累計され、"GT"が点灯します。詳しくは「GTメモリー」をご覧ください。

定数計算

「入力した全ての数を一律に2倍する」など、計算が定型的なら、計算式の入力を省略して、次々と答を得ることができます。数値入力後に、**2**か**%**を押すと、答が得られます。

●設定/解除のしかた 例えば"×2"を定数とするなら、"2 **×** **×**"と、定数値入力後に、四則演算のキーを2度続けて押します(画面に"K"点灯)。解除するには、上記に続けて、四則演算キーをさらに1度だけ押します。

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
1+5=6	F	5 + 1 =	K
3+5=8	F	3 =	K
7-6=1	F	6 - 7 =	K
2-6=-4	F	2 =	K
3×2=6	F	2 × 3 =	K
4×2=8	F	4 =	K
15÷3=5	F	3 ÷ 15 =	K
21÷3=7	F	21 =	K

其他のご使用上の注意



- 本書の計算結果(例)は、一部省略されていることがあります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書および本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任は負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 極端な温度条件下や、急激な温度変化のある場所での使用や保管は避けてください。また、湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。(使用温度0℃~40℃)
- 「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。
- ボールペンなど鋭利なものでキー操作をしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 電池交換をすると、メモリー内容がクリアされます。また、設定した税率が変化する場合があります。電池消耗時に太陽光が遮られたときも同じ現象が起こります。税率は適切な値に設定してください。
- 本機を廃棄する場合は、電池の交換の方法に従って、電池を取り外してから廃棄してください。
- 電池と電卓の廃棄方法については、お客様がお住まいになっている地域の自治体の分別方法に従って処理してください。

小数点の端数処理について

小数点セクター $\frac{1}{10} \frac{1}{100} \frac{1}{1000} \text{ADD}$

ラウンドセクターをCUTまたは5/4に合わせると、計算結果の小数部分で端数処理ができます。

●小数点セクターでは、小数点第何位未満を端数処理するかを選べます。"15.00"のような小数2桁単位の概数にするなら(端数処理は小数3桁目)、“2”を選択します。

例題	ラウンドセクター	小数点セクター	操作
5÷3=1.666666666… (通常時)	F		5 ÷ 3 =
→1.66 (切り捨て)	CUT	2	5 ÷ 3 =
→1.68 (四捨五入)	5/4	2	5 ÷ 3 =

キーを押し間違えたときは

- 数字キーの押し間違い
 - キーを押してから、正しい数字を入力し直します。
 - ▶キーを押してください。押すごとに表示数値の最小桁の数字が消えます。続けて入力し直してください。
- 四則演算キー(+ - × ÷)の押し間違い

続けて正しい四則演算キーを押してください。

ゴハサン(クリア)にしたいときは

- ゴハサン(クリア)

ACキーを押してください。独立メモリー内の数値を除いて、すべてをクリアします。
- 独立メモリー内容のクリア

MCキーを押してください。

画面に“E”と表示されたら

ありえない計算(√-4 や6÷0など)をしたり、計算結果が本機の計算範囲(*)を超えたりして計算が続行不能となると、本機は、画面に“E”マークを表示して動作を停止します。

ACを押すと、動作停止が解除されます。はじめから計算し直してください。

★整数12桁以内(−1兆<数値<1兆)。
●本機の計算範囲を超えて“E”が表示された時の計算結果は、1兆単位の概数を示します。例えば、“E”とともに、1.23と表示されたら、約1.23×1兆と読みます。

開平計算

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
√4=2	F	4 √ =	
5√4=10	F	5 × 4 √ =	

独立メモリー カッコのついた混合計算に便利です。

- M+・・・独立メモリーに数値を加えます。
- M-・・・独立メモリーから数値を引きます。
- MR・・・独立メモリーに記憶されている数値を表示します。
- MC・・・独立メモリー内容をクリアします。

●独立メモリー内容は、自動節電機能(オートパワーオフ)により電源OFFになってもクリアされません。

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
8×9=72 (小計)	F	(小計) 8 × 9 =	M
-)5×6=30 (小計)		(小計) 5 × 6 =	M
2×3= 6 (小計)		(小計) 2 × 3 =	M
48 (合計)		(合計) MR	M
(2×3)+(2×3)+4.5+4.5-4.5+4.5=21	F	MC 2 × 3 M+ M+ 4.5 M+ M+ 4.5 M- M+ MR	M

応用問題

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
12÷2=6 (小計)	F	(小計) AC MC 12 M+ ÷ 2 =	GT, M
12÷5=2.4 (小計)		(小計) MR ÷ 5 =	GT, M
12÷8=1.5 (小計)		(小計) MR ÷ 8 =	GT, M
9.9 (合計)		(合計) GT	GT, M
7.8 × 89=694.2	F	AC MC 7.8 M+ × 89 =	GT, M
4.56×23=104.88		4.56 M+ × 23 =	GT, M
(合計) 12.36 799.08		(左端の合計) MR (右端の合計) GT	GT, M

アドモード計算

□を押さなくても、入力した数値の下2桁目に小数点が自動的に現れます。ドル・セント単位の加減計算などに便利です。

ただし、以下の場合は無効となります。

- 置数の際に□を押した場合。
- 加減計算以外の計算をした場合。

例題	ラウンドセクター	小数点セクター	操作
\$ 1.23	CUT	ADD ₂	123 +
3.21			321 -
-1.11			111 +
2.00			200 =
\$ 5.33			

画面上の主な表示について

- ： "1"234" など3桁ごとの「位取り」が表示されます。
- GT：GTメモリーに数値が記憶されている場合。
- M：独立メモリーに数値が記憶されている場合。
- E：エラー状態になった場合。
- ：数字が負数である場合。
- K：定数計算をしている場合。

●画面には、計算内容により**+****-****×****÷****=**や、“A”(検算結果)“■”(検算音停止中)などが表示されることがあります。

パーセント計算

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
100円の5%は 5	F	100 × 5 % =	
100円の5%増しは 105	F	100 × 5 % +	
100円の20%引きは 80	F	100 × 20 % -	
30個は60個の 50%	F	30 ÷ 60 % =	
100は80の 25%アップ	F	100 ÷ 80 % =	
利益を売価の25%と見込んだ場合、仕入価格(原価)120円の品物の売価および利益は			
→売価=160円	F	120 ÷ 25 % =	
→利益= 40円	F	(続けて) -	

売価	← 定価160円 →
仕入価格+利益	仕入価格(原価)120円 利益40円
	← (100-25)% → 25% →

GTメモリー

小計/合計などに便利です。

- GT・・・GTメモリーに答えを加えます。
- GT・・・GTメモリーに記憶されている答えの累計値を表示します。
- AC・・・GTメモリーに記憶されている答えの累計値をクリアします。

●GTメモリー内容は、自動節電機能(オートパワーオフ)により電源OFFになるとクリアされます。電源OFFになってもAC GTと操作すれば、GTメモリーに記憶されている数値を呼び出すことができます。

例題	ラウンドセクター	操作	主な表示記号
23×7=161 (小計)	F	(小計) AC 23 × 7 =	GT
56×4=224 (小計)		(小計) 56 × 4 =	GT
89×1= 89 (小計)		(小計) 89 × 1 =	GT
474 (合計)		(合計) GT	GT

(注意) 連続して大きな桁の計算をすると、オーバーフローエラーになることがあります。この場合はACキーを押して、エラーを解除してください。

検 算

検算

同じデータを繰り返し計算したとき、どの箇所でキー操作を間違えたのかを確認することができます。伝票の集計計算などで検算したいときに、たいへん便利です。加減乗除計算、パーセント計算、メモリー計算、税金計算を検算することができます。

●検算の仕方

- ① **AC** キーを押して、計算します。この計算内容は、計算内容用メモリーに記憶されます。
- ② **RECALL** キーを押して、同じキー操作をします（“検算中”が点灯）。
前回のキー操作に対して入力ミスがあると、命令キーを押したときに“ピーッ”と音が出ます。キー操作が終了すると、“ビッピッ”と音が出ます。また、計算内容が計算内容用メモリーに記憶された内容と同じならば、“OK”が点灯します。

1.正しい計算をした後の検算

ここでは、次のような正しい計算をした後に検算したものとして説明します。

キー操作	表示窓
AC	0.
10 +	10.+
20 +	30.+
40 =	70.=

- 左記のキー操作は、計算内容用メモリーに記憶されます（「数値+命令キー」を1ステップとして、最大100ステップまで記憶できます）。この内容は**AC** キーを押してもクリアされません。

(例1) 検算時に正しく入力できた場合は？

キー操作	表示窓	
AC RECALL	0.	検算中 “検算中” が点灯
10 +	10.+	検算中
20 +	30.+	検算中
40 =	70.=	検算中 OK “ビッピッ”

(例2) 検算時に「20」を「2」と入力ミスした場合は？

キー操作	表示窓	
AC RECALL 10 +	10.+	検算中
(間違った数値) 2 +	2.+	検算中 “ピーッ”
20 +	20.+	検算中 RECALL 計算時に入力した数値を表示。
省略可 20 +	30.+	検算中 “ビッ”
40 =	70.=	検算中 OK “ビッピッ”

- “今”点灯時は、**RECALL** と **AC** 以外のキーを使えません。
- “今”または“前”点灯時に **RECALL** キーを押すと、キーを押すごとに計算時に入力した数値（“前”点灯）と検算時に入力した数値（“今”点灯）が交互に表示されます。
- “訂正”点灯時に **+** 等の命令キーを押すと、表示されている数値と命令にて検算を続けます。

2.間違った計算をした後の検算

ここでは、次のような間違った計算をした後に検算したものとして説明します。

キー操作	表示窓	
AC	0.	
10 +	10.+	
(入力ミス) 2	2.+	「20」を「2」と間違えて入力
+	12.+	
40 =	52.=	

(例3) 間違った計算に対して、検算時に正しく入力できた場合は？

キー操作	表示窓	
AC RECALL 10 +	10.+	検算中
(正しい数値) 20 +	20.+	検算中 “ピーッ”
2 +	2.+	検算中 RECALL 計算時に入力した数値「2」を表示。
20 +	20.+	検算中 RECALL 検算時に入力した数値を表示。
省略可 20 +	30.+	検算中 “ビッ”
40 =	70.=	検算中 “ビッピッ”

- 間違った計算に対して検算時に正しい計算をしたときは、“OK”は点灯しません。**RECALL** を押すたびに、前の計算結果と後の検算結果が「A」とともに表示されます。
- 検算時の正しいキー操作は、計算内容用メモリーに記憶されます。この内容は **AC** キーを押してもクリアされません。

(例4) 間違った計算に対して、検算時に更に「20」を「5」と入力ミスした場合は？

キー操作	表示窓	
AC RECALL 10 +	10.+	検算中
(間違った数値) 5 +	5.+	検算中 “ピーッ”
2 +	2.+	検算中 RECALL 計算時に入力した数値「2」を表示。
(正しい数値) 20 +	20.+	検算中 RECALL 正しい数値を入力。
30 +	30.+	検算中 “ビッ”
40 =	70.=	検算中 “ビッピッ”

- 間違った数値を入力して **+** 等の命令キーを押してしまったときは、続けて **RECALL** キーを押してください。“訂正” / “前” が点灯し、正しい数値を入力し直すことができます。ただし、**=** キーを押して答えを求めた後はできません。

参 考

- “訂正”点灯時に **□** キーを押して、置数ミスや命令キーの押し間違いを直すことができます（右下に“?”が表示されます）。なお、“?”表示時に **RECALL** キーを押すと、“訂正” / “今” が点灯した状態に戻ります。
- 検算終了後に新たな計算をするときは **□** キーまたは **AC** キーを押してください。ただし **□** キーを押してからの計算内容は検算の対象とはなりません。
- 検算終了後に再び計算をするときは、**AC** に続けて **RECALL** と押してください。本体に記憶された最新の計算の内容をもとに検算できます。ただし、**AC** に続いて新たに計算を始めると、それ以前の計算内容はクリアされてしまいます。

- AC** を押した後、**□** を“ビッ”と鳴るまで押し続けると、音を止めることができます（画面右下に“■”が点灯）。再度同じ操作をすると、元の状態に戻ります。
- AC** キーを押して計算したときにキー操作が95ステップになると、“STEP”を点灯します。また100ステップを超えると“OVER”を点灯します。“OVER”を点灯したとき検算はできませんが、計算はそのまま続けることができます。

税金計算

(以下は税率が5%の場合)

税込

●最初に税率を確認してください

AC **RECALL** (税率)

●税金計算(消費税計算)の例 (税率=5%とする)

(例1) 課税前価格10,000円に対し…
課税後の支払い総額は? **10000** **RECALL** 10'500.(円)
その際の課税額は? **RECALL** 500.(円)

(例2) 課税後価格10,500円に対し…
課税前の正味価格は? **10500** **RECALL** 10'000.(円)
その際の課税額は? **RECALL** 500.(円)

- **RECALL** (または **RECALL**) を押すごとに、税込(または税抜)価格と税額を、交互に表示します。

(例3) 価格がそれぞれ300円(税抜き)、700円(税込み)、2,000円(税込み)の商品を買ったとき、支払い総額はいくらになるか?
(操作) 税抜き商品の支払い価格を先に計算します。

通常計算の場合	M+ や M- を使った場合	結 果
300 RECALL	MC 300 RECALL M+	315.
+ 700 + 2000 =	700 + 2000 M+ MR	3'015.

●税率を設定し直すには

- (1) **AC**
- (2) **%** (税率設定) を“税” “%” が点灯するまで押し続けます。
- (3) **5** **%** (税率設定) … 正しい税率(例では5%)を入力します。

- ラウンドセレクターや小数点セレクターの指定(CUT.0など)に従って、1円未満の端数の「切り捨て」「四捨五入」をします。本機では、まず税額を求めた後、税込(または税抜)価格を計算します。
- 設定した税率は **AC** を押しても消去されません。また、電源が切れた後も記憶されています。

仕 様

電 源：太陽電池
リチウム電池 CR2016 1個

リチウム電池寿命：約4年(1日1時間使用時)

自動節電機能(オートパワーオフ)：操作完了後、約6分で自動電源OFF

使用温度：0℃~40℃

大きさ、重さ：107mm × 179mm × 10mm、205g

自動節電機能 (オートパワーオフ)

AC

本機には電源をOFFするキーはありませんが、リチウム電池のムダな消耗を防ぐため、操作完了後約6分で自動的に電源OFFになります。**AC** キーを押すと、電源はONになります。その際、独立メモリーの内容は保護されています。

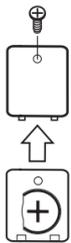
- 自動節電機能(オートパワーオフ)により電源OFFになったときは、**AC** **=** と操作してください。電源OFFになる前の状態に戻ります。

電池の交換 (暗い所などで画面の数字が見えにくくなった)



1. 製品の底面にある電池プタのネジをドライバーで取り外します。
2. 電池プタを取り外します。
3. 古い電池を取り外します。
4. (+)(-)の向きを本体表示どおりにして、新しい電池を入れます。
5. 電池プタを元の位置に戻します。
6. 電池プタのネジをドライバーで留めます。

・電池は、工場出荷時より微小な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の電池寿命よりも使用できる時間が短くなることがあります。あらかじめご了承ください。



電卓の情報は、ウェブサイト (<http://casio.jp/dentaku/>) でもご覧いただけます。